

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)ケースデンキ日吉津店新築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-	<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15			<b>2.6</b>
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40			
1 開口部遮音性能		<b>3.0</b>	1.00			
2 界壁遮音性能			-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.9</b>	0.35			<b>2.9</b>
2.1 室温制御		<b>3.6</b>	0.50			
1 室温		<b>3.0</b>	0.50			
2 外皮性能		<b>3.0</b>	0.17			
3 ゾーン別制御性		空調ゾーニングの形成、ゾーン別の冷暖房管理	5.0	0.33		
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>4.0</b>	0.25			<b>4.0</b>
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.50			
1 昼光率			-			
2 方位別開口			-			
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	1.00			
3.2 グレア対策			-			
1 昼光制御			-			
3.3 照度			-			
3.4 照明制御		照明制御装置による管理	<b>5.0</b>	0.50		
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.7</b>	0.25			<b>3.7</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆又は規制対象外建材を使用し、空気質環境に配慮	<b>5.0</b>	1.00		
4.2 換気		<b>2.0</b>	0.30			
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50			
2 自然換気性能			-			
3 取り入れ外気への配慮		<b>1.0</b>	0.50			
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>1.0</b>	0.50			
2 喫煙の制御		客用の喫煙可能なスペース無、従業員用には専用の部屋を配置	<b>5.0</b>	0.50		
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.7</b>	0.40			<b>3.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>4.0</b>	0.40			
1 広さ・収納性			-			
2 高度情報通信設備対応			-			
3 バリアフリー計画		バリアフリー法を満たし、福祉のまちづくり条例に準じた計画	<b>4.0</b>	1.00		
1.2 心理性・快適性		<b>3.0</b>	0.30			
1 広さ感・景観		高い天井高とし開放性を確保	<b>5.0</b>	0.33		
2 リフレッシュスペース			<b>3.0</b>	0.33		
3 内装計画			<b>1.0</b>	0.33		
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		汚れやすい部分は清掃しやすい仕上げを採用	<b>4.0</b>	0.50		
2 維持管理用機能の確保		掃除しやすいように配慮した	<b>4.0</b>	0.50		
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.8</b>	0.30			<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		<b>3.0</b>	0.80			
2 免震・制震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.0</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>2.0</b>	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途2種以上にC以上を採用	<b>4.0</b>	0.20		
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.20			
2.4 信頼性		<b>2.2</b>	0.20			
1 空調・換気設備		<b>1.0</b>	0.20			
2 給排水・衛生設備		<b>2.0</b>	0.20			
3 電気設備		<b>3.0</b>	0.20			
4 機械・配管支持方法		<b>1.0</b>	0.20			
5 通信・情報設備		通信手段・精密機器等に配慮した	<b>4.0</b>	0.20		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.3</b>	0.30		-	<b>3.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高6.0m	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.059	5.0	0.40		-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>2.4</b>	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30		-	<b>1.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30		-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>2.0</b>	0.40		-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30		-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40		-	<b>3.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.75	<b>4.0</b>	0.50		-	<b>4.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>2.0</b>	0.20		-	<b>2.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>2.0</b>	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30		-	<b>2.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20		-	<b>3.4</b>
1.1 節水		節水性の高い水栓、便器を採用	<b>4.0</b>	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.2</b>	0.60		-	<b>2.2</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.13		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.25		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.25		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.13		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			-	-		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		スコアシートによる	<b>3.9</b>	0.33		-	<b>3.9</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.6</b>	0.33		-	<b>2.6</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.5</b>	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	大規模小売店舗立地法による	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.5</b>	0.33		-	<b>3.5</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>4.0</b>	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.50		-	
2	振動	大規模小売店舗立地法による	5.0	0.50		-	
3	悪臭		-	-		-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	照明器具は全てLEDとし、外部照明はタイマー管理	4.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	